

製品名: KCNN4 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM82732**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	47.6kDa

抗原情報

遺伝子名	KCNN4
別名	IK; IK1; SK4; DHS2; KCA4; hSK4; IKCA1; hKCa4; KCa3.1; hIKCa1
遺伝子 ID	3783.0
SwissProt ID	O15554
免疫原	大腸菌で発現したヒト KCNN4 (AA: 追加 286-427) の精製された組み換え断片。

背景

この遺伝子によってコードされるタンパク質は、細胞内カルシウムによって活性化される、ヘテロ四量体電位非依存性カリウムチャネルの一部です。活性化に続いて膜過分極が起こり、カルシウム流入が促進されます。コードされるタンパク質は、Tリンパ球におい

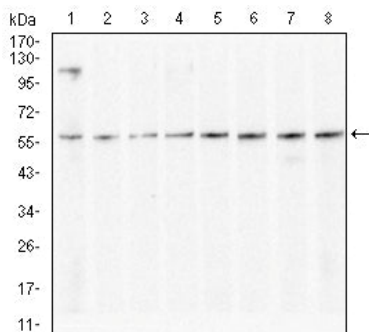
て主要なカルシウム活性化カリウムチャンネルの一部である可能性があります。この遺伝子は KCNN ファミリーの他のカリウムチャンネル遺伝子と類似していますが、十分に異なるため、新しいサブファミリーの一部である可能性があります。

研究分野

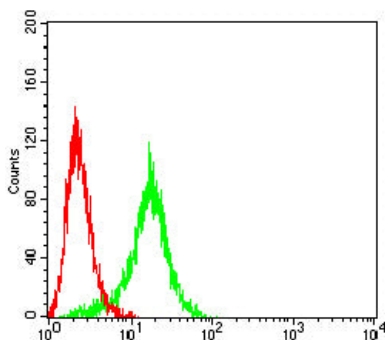
画像データ



黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



HepG2 (1)、Jurkat (2)、Hela (3)、MCF-7 (4)、HEK293 (5)、SW480 (6)、HT-29 (7)、および SW620 (8) 細胞溶解物に対する KCNN4 マウス mAb を使用したウエスタンブロット解析。



KCNN4 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した THP-1 細胞のフローサイトメトリー分析。